



きょうさいだより

Sasebo Kyosai Hospital Communication Paper vol.19-02 2019 spring



「松浦鉄道」 撮影：早田 浩 氏

INDEX

- 2 ● ごあいさつ 院長 井口 東郎
- 3 ● 市民公開講座報告
 - 介護連携懇談会報告
- 4 ● 診療活動の現況 ー小児科ー
- 6 ● 新任医師の紹介
- 7 ● 医療連携室より
 - ゴールデンウィークの救急体制
 - 編集後記
- 8 ● 外来診療担当表

佐世保共済病院の理念

博愛の精神 人の和 自己研鑽

基本方針

1. 地域のニーズに応え信頼される医療を目指し、地域医療に貢献します。
2. 他の診療機関とともに地域の皆さんの診療と健康増進に努めます。
3. 新しい医学および医療の知識と情報を取り入れ、自己啓発に努めます。
4. それぞれが自己の責任を自覚し、安全な医療を目指します。
5. 病める人の苦しみや喜びを分かち合える心を持ち、患者さん中心の診療に努めます。

ごあいさつ

院長 井口 東郎



新しい年度のスタートに際しまして、今後の地域連携をさらに緊密にさせていただくために、共済病院の目指す方向性を皆様にお知らせいたします。

医療の世界は激動の時代を迎えており、一步舵取りを誤れば病院存立の危機に繋がりますので、地域の医療機関との連携を要とした安定した経営基盤の構築が求められています。そういった中、各医療圏の医療事情に応じた地域医療構想を策定するために県単位あるいは医療圏単位で会議の場が設けられており、佐世保県北医療圏においてもこの作業が進行中であります。本医療圏では急性期病床が過剰となっておりますが、佐世保市にある4つの基幹病院には急性期医療を担ってゆくことが義務づけられています。また、本医療圏では回復期病床の不足ならびに慢性期病床の過剰も指摘されてはいますが、共済病院では地域包括病棟を併設しているためでしょうか、回復期病床の不足よりはむしろ回復期以降の在宅医療を含めた慢性期病床の不足を実感している次第です。本医療圏における病床機能の調整には今後も紆余曲折が予測されますが、地域住民の期待に応えられる医療を提供できる体制の早期実現に向けて、行政ならびに地域の医療機関が協力して一定の方針を策定できるように努力して参ります。佐世保の4つの基幹病院が急性期医療を担ってゆくこと

は先述しましたが、本医療圏における診療の効率化といった観点から各病院間の役割分担が求められています。ただ、この4病院間では、診療分野に多少のオーバーラップはみられますが、既に役割分担ができており、新たな取り組みをせねばならないといったことはないようです。

このような佐世保県北医療圏の医療事情を鑑み、佐世保共済病院が目指す方向性としましては、国民の2人に1人が罹患するがんの診療(消化器外科および腫瘍内科)、高齢化社会でさらなる増加が見込まれる骨折の診療(整形外科)それに佐世保県北医療圏における開業医の高齢化で担い手不足が懸念される周産期医療(産婦人科および小児科)を3本柱に据え、診療機能の充実を図ってゆく所存であります。また、今の医療はチームで成り立っており、医師とそれ以外の部門との協働なくして病院の業務をまっとうすることはできません。共済病院では「医療の質の担保」という点で職員の間には既に意識付けができており、今後も患者さんに寄り添った医療を提供して参ります。

本号が平成最後の「きょうさいだより」となりますが、元号が変わった後も佐世保共済病院は地域医療に貢献すべく職員一同頑張っ参りますので、地域の医療機関におかれましては今後とも温かいご支援をよろしくお願い致します。

がんの最新情報をお届けします

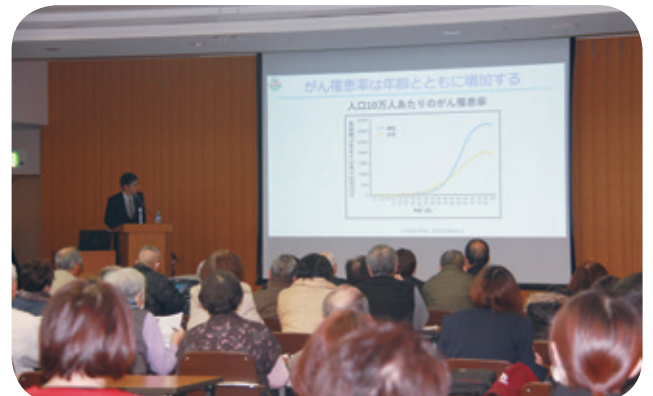
院長 井口 東郎

世界に先駆けて超高齢化社会を迎えている日本では2人に1人ががんに罹患する時代となっているにも関わらず、高齢がん患者の標準治療は確立されておらず、標準化に向けた対策が喫緊の課題であります。高齢者は一見若年者と変わらないように見えても臓器機能が低下していることが多く、この臓器機能低下は個人差が大きいため、その評価がポイントとなります。そこで、今回の市民公開講座では「高齢者のがん化学療法」を主題に据え、医師（2名）、看護

師それにソーシャルワーカーといたった立場の異なる4名の演者から「高齢者の機能評価法」、「高齢がん患者の化学療法の実際」、「高齢がん患者の支持療法」、そして「高齢がん患者の生活を如何に支えるか」といったそれぞれの立場からの話しをしていただきました。

今回の市民公開講座には計113名の方にご参加いただきました。今回のテーマに

対する市民の関心の高さが窺えました。共済病院では今後も腫瘍内科を中心に多職種とのチーム医療でがん患者に寄り添った医療を提供するとともに、がんの最新情報を市民の方々にお届けして参ります。



介護連携懇談会報告

超高齢者社会 患者の支援体制

医療連携室 室長 井原 司

第2回介護連携懇談会を2月22日、当院8階講堂で開催しました。当日は52施設の96名の関係者が参加しました。昨年第1回目を行った際、参加者の方々より勉強会の情報が非常に役に立った、連携室のスタッフと直接話ができて良かった、などの意見が多くあり今回の開催となりました。

開催の挨拶後、①「急性期病院の現状と退院支援について」。②「事前アンケートの結果及び回答」。③「介護サービス事業所における実地指導の事例紹

介」。3題の発表がありました。その後連携室メンバーの紹介で閉会となりました。その後も会場では、当院スタッフと意見交換が続き、有意義な会となりました。

超高齢者社会を迎え、高齢者、特に医療と介護を必要とする高齢者や家族にとって、住み慣れた地域や町で安心して生活して

いく上で、介護、福祉、医療の連携は非常に大切です。

当院においても、これらの連携の環の中で、入退院支援センターを中心とした連携の強化をしていきます。患者の病態が変化した際や、急変時には介護在宅施設のバックアップ体制、支援体制を整えて行く予定です。

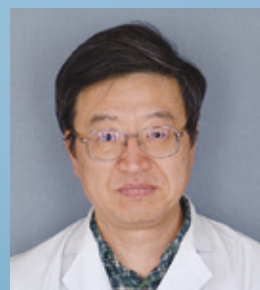




小児科 27 年を振り返って

— 小児科 —

小児科顧問 岡 尚記



私は平成4年6月2日当時の国立長崎中央病院より当院に赴任しました。前任の病院では、気管支喘息の治療を主として担当し、その当時全国的に行われてきた気管支喘息長期入院療法の担当医として、養護学校と呼ばれていた学校の先生を含むチームで治療を行っており、それなりの効果はあげていたと思います。

当院は産婦人科が充実しており出産も多く、新生児の管理は小児科が担当し、帝王切開やリスクの高い分娩には必ず小児科医が立ち会っていました。新生児を専門とする者もあり、私も自然と彼らに引きずられる格好で相当小さな子供達の診療も行っていました。三つ子も何組か入院して、無事大きくなりました。看護師も一所懸命頑張ってくれてチーム医療として新生児医療に励んでいました。重症児の治療で泊まり込んで頑張ったこともあって、看護師から「もう駄目かとも思いましたが、あきらめずに先生よく頑張りましたね」と誉められたこともありました。

当初小児科は3名体制でした。この地域の子供達のためをモットーに日夜診療に励み、取り扱い患者数も増え、長崎大学に派遣医の増員を希望したところ、すんなりと認められ平成8年6月からは4名体制となり、一層診療に励むことになりました。

● 気管支喘息について

専門としていた気管支喘息の患者さんは、それまでの経験もあって、治療内容はそれ程変わらなかったのですが、薬剤使用のアドヒアランスの改善や定期治療の重要性を訴えることで、発作コントロールの改善が得られ、受診者が増えてきました。しかし、発作好発時期や感染症罹患時には、夜間の発作出現で受診する患者や重症発作となり入院する患者が非常に多く、他の医師を始めとして看護師・その他のスタッフに非常に迷惑をかけていました。重症発作時にはイソプレテロール持続吸入療法を行い、病室内がその霧で覆われていました。最初、子供達は嫌がっていましたが、呼吸が楽になることを感じてからは真面目に吸入をしてくれるようになり、子供なりに分かるのだなあと感心していました。手からはネオフィリンの持続点滴を行っていましたが、現在は心刺激作用や神経刺激作用といった副作用が現れやすく、使い方に注意が必要という問題点があるため、ネオフィリンの使用は控えられるようになりました。最近の気管支喘息の状況は吸入性ステロイド剤の使用により、発作コントロールが非常に改善し、当科でも入院や通院患者数も激減しています。低年齢児は吸入液があり、吸入時間が長いというデメリットがありますが、患者さん及び

家族もその効果を十分に認めることで治療継続が可能です。それより年長児はハンドネブライザータイプやパウダー製剤が使用できます。しかし、今もなお、しっかりと治療を継続させ、気管支喘息を軽快させることが大切です。当科では呼吸機能検査が可能な子供達では、受診時に検査を行い、その結果の説明により、そのモチベーションを維持するように努めています。

● 感染症について

小児科の入院で多くを占める疾患は感染症です。気管支炎・肺炎等の呼吸器感染症を始めとして、多くの細菌感染症・ウイルス感染症があります。最近ではインフルエンザなど迅速診断が可能なウイルス感染症等があり、早期に適確な診断が可能となりました。私が印象深く思っている感染症の一つはアデノウイルス感染症です。扁桃には膿苔を生じ、血液検査では細菌感染症を思わせる検査結果を認め抗生剤を使用しても発熱が続き、入院ということになっていました。迅速診断が可能となり、「陽性であれば5日間程度頑張れば発熱は落ち着きます」と説明して家族も安心するようになっていました。その他にも近年は、予防接種の種類が増えて、極めて重症となっていた細菌性髄膜炎を始めとして、入院を要する子供達が少なくなっています。これは喜ばしいことと思っています。

● 低身長症について

当科に赴任後、力をいれた疾患は低身長症です。成長ホルモンの分泌が少ないため背が低い子がいます。低身長によって、その子にハンディをもたせることは良くないので、少しでもその子供達の手助けになればと思い、精査を行い、成長ホルモンの分泌が不十分であることが証明されたら、治療を開始します。残念ながら注射しか成長ホルモンの投与方法はなく、その点困難を伴いますが、治療が必要な子はほとんどが毎日1回の注射を終了基準に到達するまで、数年間頑張ってくれています。

当院在職中の最大の事件は、全国的な小児科医不足に端を発する、日本小児科学会主導の地域における病院小児科の集約化の問題です。佐世保・県北医療圏においては、平成20年3月で佐世保市立総合病院（現：佐世保総合医療センター）に集約を図り小児科医の疲弊を軽減することとなりました。これにより、4月1日から私だけとなりましたが、1名どうにか確保し、その後7月にもう1名の確保ができましたが、この2名は21年3月までに退職し、4月からは完全に1人となり、小児科のか細い光を維持すべく、勤務を続けました。24年7月から1名加わり、1名勤務は3年3ヶ月で解消しました。そして28年1月には、もう1名増え、これをきっかけに小児科医3名で取得できる小児入院医療管理料4を取得可能となり、これで病院小児科としての体制が7年9ヶ月ぶりに整いました。29年7月1日には新生児特定集中治療室管理料2が、3床で認められ、引き続き地域の新生児医療の維持のために頑張っています。

私が1人になった時には、共済病院小児科はなくなったとの風評が広まり、患者は激減しました。しかし、この風評はなかなか払拭されず、今もなお、受診者数は増加していません。31年1月からは常勤医がもう1名増え、小児アレルギー専門医が2名、小児血液専門医も1名おり、より充実した小児医療を提供できるようになっております。

地域の子供達の健康維持のために頑張りますので、今後ともよろしくお願ひします。



岡副院長（中央）と病棟スタッフ

4月より16名の医師が着任しました。

小児科医長 中島 康貴



- ①九州大学・平成19年
- ②九州大学
- ③小児科一般・小児循環器
- ④福岡県
- ⑤地域医療に貢献することができるよう努力していきます。よろしくお願ひ申し上げます。

眼科 松本 拓



- ①福岡大学・平成21年
- ②福岡大学 ③眼科
- ④山口県
- ⑤佐世保は初めてですが、医療に貢献できるよう頑張っていきたいと思いますのでよろしくお願ひ致します。

循環器内科 片伯部 幸子



- ①久留米大学・平成22年
- ②久留米大学 ③循環器内科
- ④福岡県
- ⑤2年ぶりに戻って参りました。研究生活からの久々の臨床復帰なので気を引き締めて頑張ります。

循環器内科 北村 知聡



- ①愛知大学・平成27年
- ②久留米大学
- ③心臓血管内科
- ④福岡県
- ⑤佐世保地区の医療に貢献できるよう微力ながら頑張ります。

- ①出身大学・卒業年
- ②在籍医局
- ③専門領域
- ④出身地
- ⑤趣味、その他一言



腎臓内科 山崎 政虎



- ①佐賀大学・平成25年
- ②佐賀大学 ③腎臓内科
- ④佐賀県
- ⑤佐世保の皆様のお役に立てるように頑張りますのでどうぞよろしくお願ひします。

腫瘍内科 上原 康輝



- ①九州大学・平成28年
- ②九州大学
- ③腫瘍内科
- ④沖縄県
- ⑤新天地で頑張ります。よろしくお願ひします。

外科 内野 馨博



- ①久留米大学・平成23年
- ②久留米大学
- ③外科一般・救急/災害医療
- ④福岡県
- ⑤「仕事にプライベートに全力投球」です。この街の良さ、たくさん教えて下さい!

外科 音琴 真也



- ①久留米大学・平成27年
- ②久留米大学
- ③外科一般
- ④長崎県
- ⑤私の地元であり、貢献できるよう頑張ります。

整形外科 萩尾 聡



- ①帝京大学・平成24年
- ②九州大学
- ③整形外科一般
- ④福岡県
- ⑤精一杯頑張ります。よろしくお願ひいたします。

整形外科 高須 博士



- ①熊本大学・平成27年
- ②九州大学 ③整形外科一般
- ④福岡県
- ⑤テニスが大好きです。おすすめのコートがあったら教えて下さい。

整形外科 倉員 太志



- ①山口大学・平成29年
- ②九州大学 ③整形外科一般
- ④福岡県
- ⑤地域の方に貢献できるよう精一杯頑張りますのでよろしくお願ひいたします。

耳鼻咽喉科 久我 亮介



- ①九州大学・平成26年
- ②九州大学 ③耳鼻科一般
- ④愛媛県
- ⑤趣味はゴルフです。精一杯頑張りますのでよろしくお願ひします。

泌尿器科 伊藤 秀徳



- ①久留米大学・平成27年
- ②長崎大学 ③泌尿器科一般
- ④長崎県
- ⑤趣味はスポーツ観戦です。精一杯頑張りますのでよろしくお願ひします。

産婦人科 岸田 薫



- ①鹿児島大学・平成27年
- ②九州大学
- ③産婦人科
- ④熊本県
- ⑤フットワーク軽く頑張ります。よろしくお願ひします。

放射線科 田淵 史典



- ①川崎医科大学・平成27年
- ②久留米大学 ③放射線科
- ④熊本県 ⑤趣味はプラモデル製作です。佐世保に来るのは初めてです。地域の医療に貢献できるように精一杯頑張ります。よろしくお願ひいたします。

歯科臨床研修医 斎藤 恵



- ①九州大学・平成30年
- ②なし
- ③歯科口腔外科
- ④大分県
- ⑤精一杯頑張りますのでよろしくお願ひいたします。



前列中央 院長 藤井良介先生

医療法人社団真友会 藤井医院

〒857-0062 佐世保市金比良町7-20 TEL 0956-22-4577

病院長 藤井 良介 先生

金比良町で開業している藤井良介と申します。

昭和58年12月に父が他界したので父の診療所の跡地で開業し現在に至っております。

開業して約35年が経ち世の中も様変わりしてSNSの時代になりました。

現在、有床診療所として外来は小外科、生活習慣病等、町医者に徹して診療しています。

日常診療を通して地域のかかりつけの患者が高齢化して、要介

護者が増え受け皿が必要だと痛感し、平成12年介護保険が導入されると同時に下記の如く施設を開設しました。

- 平成15年 御船町
「ことひら」グループホーム・デイサービス
- 平成17年 中通町
「みどり」介護付き有料老人ホーム・グループホーム・デイサービス

共済病院には通常の外来の紹介、時間外での救急の対応等、

大変お世話になり感謝しているところです。今後も病診の連携を通してよりよい関係を維持したいと考えております。

今後ともよろしく願いいたします。

ゴールデンウィークの救急体制

	4/27 (土)	4/28 (日)	4/29 (月)	4/30 (火)	5/1 (水)	5/2 (木)	5/3 (金)	5/4 (土)	5/5 (日)	5/6 (月)
	救急対応									
日直 8:30 ~ 17:30	(麻酔科)	(内科)	(泌尿器科)	二次 輪番日	(眼科)	(内科)	(内科)	(放射線科)	二次 輪番日	(泌尿器科)
当直 17:30 ~ 翌8:30	(内科)	(麻酔科)	(耳鼻 咽喉科)	内科系 外科系	(整形外科)	(外科)	(麻酔科)	(内科)	内科系 外科系	(耳鼻 咽喉科)



編集 後記

平成が残り少なくなってきました。平成最後の年度はじめを迎えましたが、すぐに改元となります。それに合わせ大型連休も控えています。休日の医療体制を整えるよう努力しています。よろしくお祈りいたします。

編集委員 原 敬一

外来診療担当表

平成31年4月1日現在

科	役職	医師名	月		火		水		木		金		備考(専門分野・特徴など)	
			午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後		
腎臓内科	部長	福成 健一	●						●				腎臓疾患・人工腎臓	
	医長	金谷 晶子			●			●					腎臓疾患	
	医員	山崎 政虎					●				●		腎臓疾患	
	〃	橋本 康平	●						●				腎臓疾患	
循環器内科	部長	金谷 誠司					●		●				循環器疾患	
	医員	片伯部幸子								●			循環器疾患	
	〃	北村 知聡	●						●				循環器疾患	
	非常勤医	田淵くみ子									●		循環器疾患	
	〃	横山 晋二					●					●	循環器疾患	
	〃	熊埜御堂淳										●	循環器疾患	
呼吸器内科	非常勤医	眞島 涼平	●		●								循環器疾患	
呼吸器内科	非常勤医	堤 央乃					●						呼吸器疾患	
糖尿病内科	非常勤医	九州大学応援医師						●	●				糖尿病内科	
消化器内科	非常勤医	河野 健次			●		●						肝臓疾患、糖尿病(5/13以降は診察日が木・金に変更)	
	〃	藤松 雅彦							■				消化器内科 ■: 予約患者のみ診察を行います	
	〃	橋口 慶一											消化器内科 ※: 各週交代で診察を行います	
	〃	田淵真惟子											消化器内科	
腫瘍内科	院長	井口 東郎					●						膵がん・胆道がん ■: 再診予約のみ診察を行います	
	医員	二尾 健太	●				●		■		●		1. 消化器がん(食道がん・胃がん・大腸がん・膵がん・胆道がん・肝細胞がんなど) 2. 乳がん、3. 原発不明癌、4. 肉腫(GIST・軟部肉腫)・その他	
	〃	篠原 雄大	■		●				●					
	〃	上原 康輝	■		●				●					
外科	副院長	井原 司					●		●				消化器外科・肝胆膵外科・内視鏡下外科・一般外科	
	乳腺外科部長	原田 洋			●								消化器外科・乳腺外科・一般外科	
	消化器外科部長	富崎 真一	●		●		●						消化器外科・内視鏡下外科・一般外科	
	肝胆膵外科部長	丸山祐一郎	●						●		●		消化器外科・肝胆膵外科・一般外科	
	医員	内野 馨博			●						●		一般外科	
	〃	音琴 真也					●		●				一般外科	
	非常勤医	川畑 方博					●						肝胆膵外科・消化器外科・一般外科	
		乳腺外来	●		●		●				●		※乳癌検診は、10時までに受付を行って下さい(要予約)	
小児科	顧問	岡 尚記							▲				小児アレルギー疾患、気管支喘息、小児一般(▲: 予約患者のみ診察を行います)	
	部長	上玉利 彰	●						●		●		小児血液、小児がん、小児一般	
	アレルギーセンター長	合田 裕治	●		●		●		●		●		小児アレルギー疾患、食物アレルギー、小児一般、気管支喘息	
	医長	金城 勤也			●		●		※		●		小児一般	
	〃	中島 康貴	●				●		※		●		小児一般・小児循環器	
	アレルギーセンター顧問	濱崎 雄平								■	■		小児アレルギー疾患(■: 第3週のみ診察を行います)	
		※: 第1・5週(金城) 第2・4週(中島) が診察を行います												
		乳児健診				●								火曜 午後1時から診察開始 午後2時までに受付を行って下さい
		慢性外来							●					水曜 午後2時から診察開始
		喘息外来									●			木曜 午後2時から診察開始
脳神経外科	部長	山川 勇造			■				■	●	■	■	脳神経外科一般	
	医長	尾藤 昭次	●		●		●			●		●	■: 午後1時30分から診察開始 午後4時までに受付を行って下さい	
整形外科	部長	水城 安尋			●		●			●		●	上肢の外科(肩肘手)、足部外科、スポーツ障害	
	医長	内村 大輝			●				●		●		上肢の外科(肩肘手)、スポーツ障害	
	〃	烏山 和之	●						●		●		股関節外科、リウマチ	
	〃	上田 幸輝	●		●		●						膝・肩関節疾患、腫瘍	
	医員	伊東 孝浩	●		●		●		●				膝・股関節疾患	
	〃	萩尾 聡	●						●				整形外科一般	
	〃	高須 博士			●							●	整形外科一般	
	〃	倉員 太志					●						整形外科一般	
泌尿器科	部長	中村 貴生			●		●		●				泌尿器疾患	
	医員	安田 拓司	■		●				●		●		■: 第2・4週のみ診察を行います	
	〃	伊藤 秀徳	●				●				●			
産婦人科	部長	鶴地 伸宏	●		■		●		●				産科・周産期医療、不妊症・内分泌疾患	
	〃	木下 秀一郎			●		●		■		●		腹腔鏡下手術、更年期・婦人科疾患	
	医員	二尾 愛	■		●				●		●		●: 婦人科診察日 ■: 産科診察日	
	〃	井町 佑三	●		●			■			●			
眼科	部長	原 潤	●		●	※	●	※	●		●	※	白内障手術、緑内障手術、硝子体手術、翼状片手術、レーザー光凝固術	
	医員	松本 拓	●		●	※	●	※	●		●	※		
	※: 火・水・金曜の午後は術前検査と特殊再来(要連絡)													
耳鼻咽喉科	部長	大橋 充	●		●		●		●		●		鼻科・耳科疾患、聴覚疾患、耳鼻咽喉科一般	
	医員	久我 亮介	●		●		●		●		●			
放射線科	部長	野々下政昭	※検査・画像診断についてのお申し込み・お問合せは、外来までお電話下さい。										MRI、CT、RI、血管造影、超音波検査	
	医長	梶原 寿浩												
	医員	田淵 史典												
麻酔科	診療部長	深野 拓			●		●		●		●		月～金午前: ペイン・緩和ケア・術前外来	
	医長	松永 祥志	●		●		●		●		●		月～金午後: 手術麻酔	
	〃	木本 文子	●		●		●		●		●			
	非常勤医	別府 幸岐	●		●						●			
ペインクリニック	部長	境 徹也	●		●		●		●		●		月～金午後は手術麻酔 受診等のお問合せは、直接外来までお電話下さい。	
病理診断科	顧問	井関 充及											細胞診断・病理組織診断全般	
歯科口腔外科	部長	窪田 泰孝	●	※	●	※	●		●	※	●	※	歯科口腔外科、インプラント、顎顔面外傷、口腔腫瘍、顎関節症	
	医員	木村 智子	●	※	●	※	●		●	※	●	※	歯性感染症など(※: 予約患者のみ診察を行います)	
	〃	濱田 雄太	●	※	●	※	●		●	※	●	※		
健診センター	健診センター長	佐藤 浩信											※お申し込み・お問い合わせは、健診センターまでお電話下さい。健診センター直通電話 0956-22-6155	
	医長	原 敬一												